

参加
無料

第27回 CODHセミナー

歴史ビッグデータの作り方と使い方

～ データを手作りするプロセスとデジタルツール～

9.18 (金)



要・事前登録！

13:30-17:45

国立情報学研究所12階会議室
／ オンライン (Zoom)

プログラム

概要

我々は2018年3月12日に、第6回CODHセミナー歴史ビッグデータ～過去の記録の統合解析に向けた古文書データ化の挑戦～を開催し、歴史ビッグデータ研究の構想と現状を共有しました。あれから8年、歴史ビッグデータ研究はさまざまな分野に拡大し、データ公開やツール構築が大きく進展しました。また近年の生成AIの発展に伴って、歴史ビッグデータ研究にも新たな可能性が広がっています。そこで本セミナーでは、歴史ビッグデータの作り方と使い方に関する実践的な知識を共有します。どのようにデータを手作りするのか、どのようにデジタルツールが作業を加速するのかなど、歴史ビッグデータ研究の現場から現在地と可能性をお伝えします。

13:30-14:00	歴史ビッグデータの夢～過去の世界をAIで研究するために必要な土台とは？	北本 朝展 (ROIS-DS人文学オープンデータ共同 利用センター／国立情報学研究所)
14:00-14:30	れきちず―歴史地図データの構築とオープン データとしての展開	加藤 創 (株式会社MIERUNE)
14:30-15:00	幕末期近世村領域データの作成 一石高でみ る日本の400年―	本田 謙一 (国際航業株式会社)
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:45	1855年安政江戸地震の被害と震度のデー タセット構築	加納 靖之 (東京大学地震研究所／地震火山史料 連携研究機構)
15:45-16:15	LLMを用いた歴史地震の震度判定	大邑 潤三 (東京大学地震研究所／地震火山史料 連携研究機構)
16:15-16:45	歴史資料のためのテキストレポジトリ構築と 災害資料の構造化	橋本 雄太 (国立歴史民俗博物館)
16:45-17:30	質疑応答・ディスカッション	

主 催

ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター (CODH)

共 催

デジタル江戸：歴史ビッグデータのための意味空間の構築とデータ駆動型実験の展開, 科学研究費基盤研究(A)
人文学・社会科学のDX化に向けた研究開発推進事業 研究実践ハブ, 文部科学省

